

# 令和 8 年

安平町議会議長

多田 政拓



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、ご家族おそろいでお健やかに新年を迎えになりましたことを、心よりお慶び申し上げますとともに、日頃から議会に対し深いご理解と格別のご支援・ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月には埼玉県で長期にわたる救助活動を要した道路陥没事故が発生し、老朽化するインフラ整備への対応が、改めて大きな行政課題であることを認識させられました。

また、秋にはクマの市街地への出没範囲の拡大により、全国的に過去最多といわれる被害が発生しました。身近

なところでは、かんがい用水として活用されております瑞穂ダムの水量が、例年に比べて大幅に減少いたしました。

幸いにも収穫後であったため深刻な影響はありませんでしたが、気候変動への備えの重要性を改めて実感する一年ともなり、豊かな自然に囲まれて暮らす私たちにとりましては、非常に大きな衝撃を受けた出来事が相次いだ一年でありました。

一方、7月には私たちの暮らしにも大きく関わる米の安定供給の問題や外国人政策、長引く物価高騰対策などが争点となった参議院議員選挙が行われ、与党の議席数が過半数割れとなりました。その後も、日本初の女性総理大臣の誕生や連立政権の枠組み変更など、政治の分野におきましても大きな変化のあった一年となりました。

町内におきましては、6月に道の駅あびらD51ステーションの来場者が400万人を達成し、隣接地において民間による新たなワイナリーの竣工式も行われ、本年3月のオープンに大きな期待が寄せられ

ております。また、改修工事を終えた早来町民センターが、新たに合宿所機能を備えて4月にリニューアルされました。プロアイスホッケーチーム「レッドイーグルス北海道」との包括連携協定を結び、地域振興やまちの活性化に向けた取り組みも進められており、町内の観光振興やスポーツの振興にとりまして、非常に力強い前進の一年となりました。

さて、本年3月27日で安平町が誕生してから20年目となる節目の年を迎えます。この20年の間には、平成30年胆振東部地震などの大きな災害もありましたが、旧早来町と旧追分町の歴史と文化を大切にしながら、私たち議会といしましても、町民の皆様と一丸となって困難を乗り越え、安心・安全な暮らしを守ってまいりました。

今後、町民の皆様が日々の暮らしの中で幸せを実感していただけるよう、全力で取り組んでまいります。結びとなりますが、令和8年の干支は丙午（ひのえうま）でございます。

丙午の年は「情熱と行動力で突き進む」「燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く」といった、力強さを象徴する年であると言われております。全国的に有名な馬産地として知られる当町におきましては、安平町で産声を上げた名馬たちの活躍にあやかりつつ、町の持つ潜在能力をいかなく発揮し、今年も大きな飛躍と発展を遂げるものと期待しております。

本年が皆様にとりまして、健やかで希望に満ち、幸多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



安平町農業委員会

会長 梶原和亀男

職務代理 谷口龍治

委員 辻 信芳

横澤 和子

梅田 鋭敏

鍋野 高志

宮内 康博

岩倉 啓一

池田 直樹

南 美彦

阿部 修一

秋田 実

安平町教育委員会

教育長 井内聖

委員 山根弘文

佐々木望

守屋 竜起

廣川 由香里

喪中により新年のご挨拶を控えさせていただきます。

安平町農業委員会

委員 富樫瑛一朗

武田 信一